

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	MT	学部・学科	国際教養学部・国際教養学科
学 年	4 年	派遣国	メキシコ合衆国
派遣大学	Universidad de las Americas Puebla		
期 間	2024 年 8 月 6 日～ 2025 年 5 月 6 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房		冷蔵庫	◎
滞在費	約 (60,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	() で、約 () 分 *大学までの所要時間と移動方法					

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房		冷蔵庫	◎
滞在費	約 (45,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (15) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	50,000 円	自炊、外食
学用品購入費	0 円	
交通費	5,000 円	Uber、DiDi、Combi

交際費	40,000 円	旅行をした月などは 100,000 円ほど
その他	円	

合計

95,000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

大学周辺はセキュリティが厳重だとはいえ、絶対に夜の 8 時以降の 1 人での外出はしてはいけない。また、旅行先に行った際はことさら貴重品の管理や安全に気をつけて行動することが必要である。首都のメキシコシティや Estado de Mexico というシティとプエブラの間の地域、カルテルの拠点のシナロア、グアダラハラ等、国内でも特に気を付ける地域には危機管理をしっかりしなくてはならない。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 その他 ()		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	() 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**Puebla, Cholula**)

プエブラ州はメキシコで 4 番目に大きな都市で、歴史的建造物と現代的な都市が共存している。UDLAP のあるプエブラ州 Cholula は、ピラミッドの上に建つオレンジ色の教会が特徴の美しい街だ。UDLAP があることから、大学を中心に学生も多く落ち着いた雰囲気、メキシコ国内でも比較的治安は良好だと言えるだろう。プエブラ市内は angelópolis と呼ばれる大型モールや映画館などの都市の特徴もあるが、Centro Histórico と呼ばれるユネスコ世界遺産にも登録されている歴史地区もあり、「都市と歴史の融合」した街である。標高 4000m 級のポポカテペトル火山は街の至る所から見ることができ、一步市街地を出ると自然豊かな街でもある。Mole Poblano や Chiles en Nogada、Chalupas などプエブラ特有の食を楽しむこともできる。

【学業編】

1. 大学情報

大学	Universidad de las Américas Puebla	所在地	San Andres, Cholula
最寄空港	Aeropuerto Internacional de Puebla	空港からの距離	18km
空港⇄大学	(Uber) *移動手段		
学生数	約 9,740 人	留学生数	約 136 人
学部	• Escuela de Ingeniería • Escuela de Negocios y Economía • Escuela de Ciencias • Escuela de Ciencias Sociales • Escuela de Artes y Humanidades *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	Escuela de Ciencias Sociales *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Cultura Mexicana		Cultura Mexicana		
午後		Pensamiento Humanista		Pensamiento Humanista	Cune Digital

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Arte Prehispánico del Centro de México	Sociedades Preestatales de Mesoamérica	Arte Prehispánico del Centro de México	
午後		Fotografía	Sociedades Preestatales de Mesoamérica	Fotografía	

3. 履修内容

科目	Clutura Mexicana		
履修期間	Otoño	単位数	2
授業内容／形態	メキシコの文化、政治、地理などの知識を通して、スペイン語の単語および文法を学ぶ授業。 <授業形態> 主に教授がスライドを使って進める一斉授業、プレゼンあり <学生数> 約 20 人程度		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Pensamiento Humanista		
履修期間	Otoño	単位数	2
授業内容／形態	西洋哲学を学び、現代社会と照らし合わせながら考えを深めていく授業。 <授業形態> 主に教授がスライドを使って進める一斉授業。学生同士の発言で意見交換をしながら進める。 <学生数> 約 30 程度		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Cine Digital		
履修期間	Otoño	単位数	2
授業内容／形態	デジタル映画について学び、学生全員で短編映画を作成する授業。各役職が決まり、これから準備、撮影に取りかかる。 <授業形態> 一斉授業、ディスカッション <学生数> 約 20 人程度		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Arte Prehispánico del Centro de México		
履修期間	Verano	単位数	2
授業内容／形態	アステカ文明やマヤ文明などに作られた陶器や装飾品、洞窟に描かれた絵などを時代背景と共に学ぶ授業。 <授業形態> 主に教授がスライドを使って進める一斉授業、プレゼンあり <学生数> 約 10 人程度		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Fotografía		
履修期間	Verano	単位数	2
授業内容／形態	カメラの操作や光と影の配置などを学ぶ授業。 <授業形態> 主に教授がスライドを使って進める一斉授業と実際にカメラを使ってチームで作業をするラボがある。 <学生数> 約 20 程度		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Sociedades Preestatales de Mesoamérica		
履修期間	Verano	単位数	2
授業内容／形態	メソアメリカ文明について、言語、環境、神話など各分野について学ぶ。 <授業形態> スライドを用いた一斉授業と教授と生徒が対話をしながら進める 2 つのコマがある。 <学生数> 約 10 人程度		
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

今回の留学を通して、学んだことは大きく2つある。1つ目は、「外国人として生きること」だ。何気なく留学生活を送る中で、地元の人々の視線や大学での学生からの視線を受けて、自分が「外国人」としてメキシコにいることを実感させられた。私自身の「アジア人」「女性」「学生」などのアイデンティティは、日本にいとマジョリティであるのに対し、場所が変わると一気にマイノリティの立場に変化することを学んだ。この経験から、自分の価値観を他者に当てはめるのではなく、相手の立場になって物事を観察し、その本質を理解しようとする大切さに気づいた。訪日外国人の増加や個人の多様化の動きが大きい昨今において、このような価値観を身につけられたことは、多様に変化する個人や社会とともに生きていく上で重要な学びであったと感じている。加えて、「偏見」は誰でも持ち得るものであるということも考えさせられた。私たちは自分がこれまで培ってきた価値観を基に世界を見ている。そのフィルターを通して物事を先入観捉えてしまうからこそ、他者の視点や考え方が必要であるということに気づくことができた。そういった意味で他者と関わり合うことで、より多様で理解しきれない他者をそのままの存在として理解することができるのだと考える。

2つ目は、危機管理に関してである。これまで海外での生活や旅行を経験してきたが、今回初めて貴重品の盗難に遭ってしまった。幸い、在留の VISA や現地大学の学生証等は手元に戻ってきたものの、クレジットカードや現金、財布は盗難されたままだ。メキシコの生活に慣れてきて気が緩んでいたのかもしれないが、自分が海外にいること、「外国人」であることを忘れずに生活することを学んだ。また、メキシコは人命に関わる事件や事故も頻繁にある。ドラッグカルテルの人間に荷物検査をされた現地の友人もいるため、リスクから身を守る大切さを感じた。

以上の2点から大きく「外国人」として生活することを主に学ぶことができた。新たな価値観や文化、自分にとって新しい土地での生活、人との出会いなど、自身にとって有意義な学びの機会であったと感じている。メキシコに新たに友人や家族と呼べる人たちとの繋がりができ、将来の選択肢の幅が広がったと同時に、人との繋がりが自身の人生を豊かにしていく大切な要素であると考えた。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学経験は、主に卒業論文に活かしたいと考えている。卒業論文では「死生観」をテーマに論文を書きたいと考えている。自身のこれまでの人生を振り返り、どうしても引っ掛かるテーマの一つである。メキシコで死者の日や友人の親戚の葬儀に参列したことで、日本とは異なる死の概念の捉え方や考え方を見ることができた。このことは、今後の生き方を考える上でも非常に貴重な経験であったと感じている。日本の歴史を遡り、古来の死の捉え方から現代の死の考え方を俯瞰し、メキシコにおける同様の事柄と比較してどのような違いがあるのか、生きる者の全てに訪れる死を人はどう受け止めて生きていくのかということについて研究したいと考えている。さらに、死生観を考える上で、「時間」に対する考え方も関係してくるのではないかと推測している。メキシコでの生活を今一度振り返ると、日本の時間感覚とメキシコの時間感覚には大きな違いがあるように感じられた。そのため、こういった留学生活を通して気づいたことや考えたことを思い返し、卒業論文に活かしたいと考えている。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

メキシコでの1年間の交換留学は、刺激的で学びの多い時間だった。出発前の不安はほとんどなかったものの、実際に生活していくうちに、語学力の向上や多くの新しい経験など課題がたくさん見つかり、減入る日もあった。しかし、周りの友人やUberのドライバー、道端で会った人など多くの暖かいメキシコ人に支えられ、1年間乗り切ることができたように感じている。正直、「メキシコ」と聞くと治安の面や生活全般の面で不安を抱える人がほとんどであるのではないだろうか。確かに危機管理は大切であるが、メキシコ人はとても親切で、助け合って生きていく精神を持っているのでそこまで身構えなくてもいいだろう。語学に関しては、簡単な挨拶や受け答え、数字などを出発前に覚えておくとも生活もスムーズだと思う。また、日本ではあまり馴染みがなくとも、積極的にイベントごとやパーティーなどには出向くことをお勧めする。そこで多くの人と繋がることできる。その上、日本では自分がやらないようなことをあえてすることに、わざわざ海外に出向く意味があるからだ。